

中小企業・SDGビジネス支援事業 におけるジェンダーの視点

JICA 社会基盤・平和構築部
ジェンダー平等・貧困削減推進室

ジェンダーとは？

- 生物学的な性別 (sex) ではなく、社会的・文化的に作られる性別のこと。
- 生物学的な男女の違いに特定の価値を与え、「女らしさ」「男らしさ」などの概念を形成すると同時に、個人の資質とは関係なく、その性別によって男女それぞれの行動様式や社会的役割を固定化するもの。
- 社会、文化、時代と共に変化するもの。
- 一般に多くの社会でこの関係性には不平等な力関係が存在する。とくに途上国の女性たちは、「女性だから」という理由だけで、男性に比べて不平等な立場に置かれることが多い。

(例えば)

- ✓女性や女兒は教育の機会が少ない
- ✓DVや性暴力、人身取引などの暴力の被害にさらされることが多い
- ✓家事や育児、家畜の世話などの長時間の無償労働を負担している
- ✓土地や財産などの資産へのアクセスが制限されている

ジェンダーの視点を活かしたイノベーション&ビジネス

ビジネスを通じて提供するサービスの顧客の約半分は女性

特に途上国では男女格差が大きく、女性の視点を意識しないと抜け落ちてしまう

提供するサービスがより顧客の課題・ニーズに合ったものになる

企業がジェンダーを含む社会的課題に取り組むことにより、企業の価値が高まる

研究・イノベーションにおけるジェンダーの視点の重要性

男女共同で研究することにより男女差に配慮した研究が拡大

男女の性差に配慮して研究開発を進めることにより、全ての人に適した真のイノベーションを創出することが可能になる (Gendered Innovations by Londa Schiebinger)

創薬の研究開発

多く実験でオスの動物を使用
⇒ 女性には効果の低い薬が開発されることがある

骨粗しょう症の診断方法

女性を対象として診断法が確立
⇒ 骨粗しょう症と診断されない男性患者が多く存在する

幹細胞臓器移植の適合性

臓器移植に男女配慮なし
⇒ 幹細胞に男女差があり、移植も女性同士、男性同士の移植が望ましい

機械翻訳プログラム

人の標準を男性に設定
⇒ 女性の名前も「彼」と翻訳されることが多く「彼女」と出ることが少ない

シートベルト設計

男性の体型を前提に開発
⇒ 交通事故において女性の方が重篤な負傷を負う率が高い

大腸内視鏡検査の確立

男性の体を対象にして設計
⇒ 女性の大腸がんを見落とす事例が多い

図1 スタンフォード大学のロンダ・シービンガー教授は、男女の性差を十分に理解し、それに基づいた研究開発をすることで、真のイノベーションをつくり出そうという「ジェンダード・イノベーションズ」を提唱している。

<http://genderedinnovations.stanford.edu/>

商品開発におけるジェンダーの視点の重要性

【日産の事例】

- 市場分析の結果→「新車購入の際、66%は女性が意思決定に関わっている」
- 女性は男性と異なる視点で車を選ぶ
男性: 車のフォルムやエンジンの力強さを重視
女性: 室内空間、パネルのスタイル、ベビーカーを簡単に積めるか、など
- 社内のダイバーシティを推進し、女性の登用を進め、女性が積極的に商品開発に関わるように。

出典: Nikkei Style
<https://style.nikkei.com/article/DGXMZO17966440S7A620C1000000?channel=DF3003201722>
60



中小企業・SDGsビジネス支援事業におけるジェンダーの視点

情報収集・調査



事業実施地域の男女の役割、女性のニーズ・課題を確認



民間企業が有する経験・技術・ノウハウを活用した取り組み（具体事例を参照）



事業実施地域の女性の状況が改善



事業による裨益効果の向上

（例えば・・・）

- 対象技術／製品／サービスの生産、加工・販売、消費（使用者、顧客）など様々な段階で、女性を含むアクターの関わりを調査。
- 農業、保健衛生、教育、社会福祉、生計向上など、女性が直接／間接的な関わりを行っていることが想定される分野においては、特に留意。
- 関係者へのヒアリングは、男女双方から。
- 事業による裨益効果が男女別に確認できるよう、男女別にデータを収集する。

（例えば・・・）

- 研修による女性の能力強化、生計向上手段や雇用機会の提供による収入の向上

【参考】中小企業海外展開支援事業におけるジェンダー案件比率

- 2016年度6%（139件中8件。農業・農村開発6件、防災1件、インフラ1件）
- 2015年度12%（105件中12件。農業・農村開発5件、保健医療3件、上下水3件、環境1件）

【参考】国際社会の取り組み

① 持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)

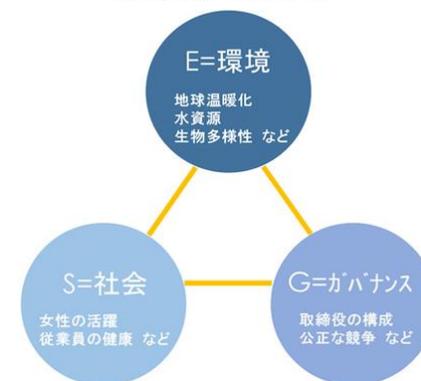
- 2030年までに貧困撲滅や格差の是正、気候変動対策など、国際社会に共通する17の目標達成を目指す。
- SDGs達成のためには民間企業の果たす役割が重要！！ (ゴール17)
- 「ジェンダー平等とすべての女性と女児の能力強化を達成することを目指す」ことが全ての目標達成の鍵である (SDGs序文)。



② ESG投資

- 投資をする際の企業の価値判断として、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の要素が考慮される。
- 2015年に年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) がPRIに署名し、2017年に国内株式を対象としたESG指数を選定。
- ESG要素の中でも、「女性の活躍」は重要な指標の一つ。

ESGに関する要素の例



出典: 年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) ホームページ

【参考】JICAの取り組み

開発目標

ジェンダー平等と女性のエンパワメント

戦略目標

女性の社会参画とリーダーシップの実現

優先開発
課題

I 女性の経済的エンパワメントの推進

女性の生産資源へのアクセス向上、生計向上、雇用・就業機会の拡大、起業の推進

II 女性の人権と安全の保障

紛争や災害、暴力や人身取引被害からの女性の保護と社会復帰・自立支援

III 女性の教育と生涯にわたる健康の推進

女性の生涯にわたる健康の推進、女性の自己実現に向けた教育の推進

IV ジェンダー平等なガバナンスの推進

ジェンダー平等を推進する政策・制度の整備と組織の能力向上

V 女性の生活向上に向けた基幹インフラ整備

女性の生活と活躍を後押しする農村・都市インフラの整備

● JICAは、開発事業の計画、実施、モニタリング、評価のあらゆる段階において、男性と女性の課題やニーズを明らかにし、男女双方が事業の便益を享受できるようにすると共に、既存の男女間の不平等な関係性を解消するための取り組み（ジェンダー主流化）を進めています。

● ジェンダー平等と女性のエンパワメント達成のため、上記の優先開発課題への取組を進めています。

具体事例の紹介

スーダン「農産物乾燥加工技術導入を通じたタマネギの付加価値創出に向けた普及・実証事業」

2017年第1回公示採択

【事業概要】

スーダンはサハラ砂漠の入口という半乾燥地帯にあり、農業を行うには厳しい環境である。さらに、情勢不安、インフラ・技術・人材不足などが重なり、農業開発が停滞していた。その中で、タマネギは園芸作物で産出額が最も高く、乾燥品はかつてヨーロッパにも輸出されていたほどの主要作物だった。しかし2006年に国営の大規模な乾燥タマネギ工場が停止して以降、タマネギの市場価格は乱高下を繰り返し、農家の収入は減少した。

そこで本事業は、大規模な国営工場に代わり、農家組合単位で導入できる電気式食品乾燥機を導入し、農業の生産性向上による農家の収入の安定と農家女性の就業機会の創出を目的として実施する。

【スーダンの農村女性の状況・課題】

- 女性の雇用先や所得創出手段がない
- 農作業(生産・収穫等)は伝統的に男性が中心となっていく



スーダン「農産物乾燥加工技術導入を通じたタマネギの付加価値創出に向けた普及・実証事業」

【案件化調査】

(2015年度第1回公示採択)

- 乾燥機を試験導入し加工作業を現地生産者に指導。女性も加工作業を担う。



【調査結果】

- 作業に女性が加わると丁寧できめ細やかな対応が可能。
- 男女間で適切な役割分担が可能。
- 女性は乾燥タマネギの消費者(顧客層)でもある。

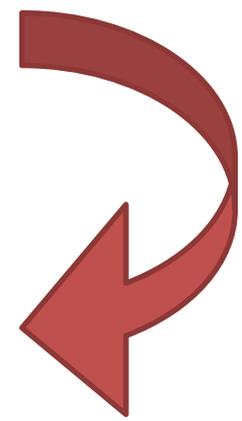
【普及・実証事業の取組】

- 農産物の生産、加工、流通における男女の役割分担を念頭に、組合の設立を支援していく。
 - 男性-生産者、管理・指導
 - 女性-乾燥タマネギ加工、販売
- 家計管理の能力向上のための帳簿研修を実施する。
- これら活動や成果指標について、「農家」に加えて「農村女性」と明記する。



【期待される成果】

- 農村女性の社会参加およびエンパワメントが促進され、農村女性の就業機会が増加し、収入が向上する。



事例紹介：株式会社姫路生花卸売市場（兵庫県）

ベトナム「育苗及び生産の近代化による高品質 花卉の産地育成普及・実証事業」

2017年第1回公示採択

【事業概要】

ベトナム国ラムドン省ダラットは花卉栽培の好条件地域であるものの、栽培方法の未熟さによる品質の低さや不十分な病虫害コントロールが輸出の障壁となっている。

そこで本事業では、日本で培った育苗技術や花卉生産技術の指導を行うと共に、ハウス内で独自のノズル形状による農薬自動噴霧装置を用い生産性を向上させ、同地域の生花の日本への輸入拡大を目指している。これにより、同地域の農村世帯の収入向上や雇用の創出に貢献する。

【農村女性の状況・課題】

- 経営・部門責任者は男性中心。一方、現場作業は女性中心。
- 女性は細かい作業でも根気よく実施。時には肥料袋を担ぐなど重量物も取り扱う。
- 女性は正規雇用で働いている割合は低い。農場で働く女性は朝早く働き始め、夕方は子どもの迎えや夕食の準備があり、早く帰る。



事例紹介：株式会社姫路生花卸売市場（兵庫県）

ベトナム「育苗及び生産の近代化による高品質花卉の産地育成普及・実証事業」

【案件化調査】

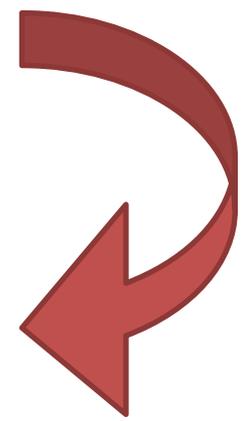
(2015年度第2回公示採択)

- 研修や講習会の実施を通じ、男女の役割や女性のニーズ・課題を調査。



【調査結果】

- 研修や講習会などの参加は主に男性。しかし、男性は講習会で知識を得ても、新たな技術には懐疑的で実践しない。
- 実際に作業経験のある女性のほうが、新たな技術の理解や習得が早い。



【普及・実証事業の取組】

- 研修や講習会の受講者及び農場を管理する職員の大半を女性にする。
- 栽培方法を学んだ女性たちが、公的な指導機関(市農業技術センター等)で栽培技術指導員として教える立場になる。または、地元農業法人の生産部門の責任者など要所に起用される。
- 女性の花を買う側(消費者)としての目線、センスを生かし、実際に生産に導入する品目・品種の選定に携わる。



【期待される成果】

- 女性農家の雇用機会が増加し、収入が向上する。



インド「環境配慮型トイレの導入にかかる普及・実証事業」

2017年第1回公示採択

【事業概要】

インド国では人口増加や経済発展に伴う上水需要の増加に伴い、下水処理能力をはるかに超える汚水が未処理のまま放流されている。その結果、河川や土壌、地下水の水質汚濁、汚染された水を媒介とする感染症、地域住民の健康被害、汚水を発生源とする悪臭が生じ、地域住民の衛生・生活環境が脅かされている。

そこで本事業は、実施主体である大成工業(株)が開発した汚水処理装置(TSS)のインド国内の学校や公衆トイレ等への設置を通じて、地域住民の衛生・生活環境の改善を目指している。

【インドの女性の状況・課題】

- 衛生設備整備の遅れから、特に女性は人目のつかない場所や時間帯での野外排泄を行うため、暴力の危険にさらされている。
- 教育機関における衛生施設の遅れがあり、学校のトイレも、女子生徒が安全に利用できる清潔な施設が求められている。
- 女性の役割は家事と育児が中心。育児に時間を取られ就業機会が少ない。そのため短時間で収入につながるような仕事が必要。

提案企業の技術・製品



TSS (Taisei Soil System)

- 日本の昔ながらの手法である「肥溜め」と「畑」の原理で生活排水を処理。
- 無電源・無放流で効率性の高い排水処理を実現。
- 簡易な製品構造のため維持管理が容易。
- 耐久性が高く、ライフサイクルコストが低い。

1 貧困をなくそう

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

8 働きがいも経済成長も

事例紹介：大成工業株式会社（鳥取県）

インド「環境配慮型トイレの導入にかかる普及・実証事業」

【案件化調査】

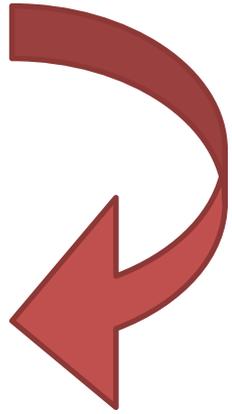
(2015年度第2回公示採択)

- インドにおけるジェンダーに関する法律および、衛生に関する女性のニーズ・課題を調査。



【調査結果】

- 女性の社会進出と地位向上のため、衛生施設整備の重要性確認。
- 学校での衛生施設の普及の必要性を確認。



【普及・実証事業の取組(予定)】

- 地域・学校における衛生教育の普及。
- 衛生普及員として女性を雇用(現地NGOと連携し、地域の学校や病院等で衛生知識の普及を目的とした衛生教育の実施)。
- TSSのモニタリング活動のための女性衛生普及員の活用。



【期待される成果】

- 女性・女兒にとって安全で清潔な衛生施設が利用可能になる。
- 女性の雇用機会が増加し、それに伴って収入が向上する。



事例紹介：株式会社ヤッツコーポレーション（宮城県） インド「農家の収入向上に向けた高付加価値農産物 （シイタケ）の商品化に係る案件化調査」

2016年第2回公示採択

【事業概要】

インドでは著しい経済成長を遂げている一方、世界最大の貧困人口を抱え、その約8割が農村部に集中している。農村部では、農場技術と農業インフラの不足が課題となっている。

そこで本事業は、シイタケ栽培技術と産地直送販売ノウハウを低所得農村に導入し、農家の所得向上を目指す。

【インドの農村女性の状況・課題】

- 旧来の慣習が根強く、女性は夫の許可なく外出できないなど、女性の活動が制限されている。
- 種蒔きや収穫などの繁忙期以外、世帯主である男性は別の仕事に従事したり、都市部に出稼ぎに行くことが多い。その間、女性が土木作業現場で肉体労働に従事し、子どもが家事を行っている。
- 農村の女性は教育や職業訓練を受けられる機会が少ないため、清掃、土木作業といった単純労働が多い。



箱詰めする女性従業員



刈入れする女性従業員

（株）ヤッツコーポレーションの従業員の半数以上は女性である。女性は製品を丁寧に扱う傾向にあり、シイタケを傷付けることなく収穫し、きれいにパッケージング作業を行うことができる。特に、収穫に当たっては、シイタケの傘を痛めることなく丁寧に刈り取る傾向があるため、無駄な不良品発生率を抑えることができる。

事例紹介：株式会社ヤッツコーポレーション（宮城県）

インド「農家の収入向上に向けた高付加価値農産物（シイタケ）の商品化に係る案件化調査」

【案件化調査】

（2015年度第1回公示採択）

- 事業実施地域の農村女性のニーズや課題を調査。



【調査結果】

- 他地域で農村女性グループによるマッシュルーム栽培の好事例を発掘。中には収入向上により、自宅にトイレを設置できた女性も。

シイタケ栽培が農村女性の就業機会改善と収入向上をもたらすことを確信

【普及・実証事業の取組（予定）】

- シイタケの試験栽培を行うタミルナド州立農業大学園芸研究所所長（女性）の意見を十分に取入れた施設設計。
- 農業大学園芸科の学生のほとんどが女性であることから、女子学生を積極的に事業に参画させる。
- 大学卒業生の雇用の検討。
- 年間を通じた栽培教育の実施⇒夫が出嫁ぎ中の農民女性の参加率の向上。
- 農民女性グループの結成。
- シイタケの薬用効果およびレシピの情報提供により、シイタケ栽培に関心を持ち、自分の仕事に誇りを持たせる。



【期待される成果】

- 事業終了後もシイタケ栽培教育が継続する。
- 農村女性が安定的かつ高収入を得られる。



園芸科の学生達（男子学生1名を除き全員女性。2016年4月現在） 右手前の女性は指導教官



キノコ栽培グループの農民女性



1 貧困をなくそう

5 ジェンダー平等を
実現しよう

8 働きがいも
経済成長も

ミャンマー国「日本式養蚕・製糸技術導入による 高品質シルク生産に係る普及・実証事業」

2017年第1回公示採択

【事業概要】

ミャンマー国では経済発展に伴い、都市部と農村部の格差が拡大している。特にカイン州は長年続いた紛争により開発が遅れており、農村部に暮らす女性や若者、少数民族の雇用機会は少ない。

そこで本事業では、日本の養蚕・製糸技術を移転して高品質な生糸を生産することによって、カイン州少数民族のカレン族の女性たちのために、現地雇用機会の創出し、女性たちの収入向上を目指している。

【カレン族の女性の状況】

- カレン族を含む少数民族や、女性、若者たちは雇用機会が少ないため、職を求めて都市部や隣国タイなどに移動する傾向がある。移動した人びとは低賃金・長時間労働の劣悪な環境に置かれていると言われる。
- 伝統的に手織りの文化があり、養蚕業、製糸業または製織業では、とりわけ女性の能力が発揮できる。



1 貧困をなくそう

5 ジェンダー平等を実現しよう

8 働きがいも経済成長も

事例紹介：株式会社大松、日本蚕糸絹業開発協同組合（東京都/群馬県）

ミャンマー国「日本式養蚕・製糸技術導入による高品質シルク生産に係る普及・実証事業」

【調査】（※案件化調査ではない）

- 事業実施地域の養蚕・製糸産業や女性の状況に関する調査。

➔

【調査結果】

- カイン州の少数民族であるカレン族の女性たちが家族のもとで職に就けるような現地雇用機会の創出についての支援要請。

【AOTS人材育成制度の活用】

- 製糸技術指導を行う日本人専門家派遣。
- 女性たちが共同生活を送りながら技術を学んで定期収入を得る仕組みづくり。
- 女性たちの自主性を尊重する取り組み（女性たちのなかからマネージャを抜擢し、人材や生産管理のノウハウを指導）。

➔

【成果】

- 若い女性たちが自分の故郷で働ける場所を見つけられた。
- 特殊な技術が必要な仕事に従事する経験を通じて、誇りをもって積極的に活動するようになった（カレン民族祭への出店や工房見学の学生の受入）。

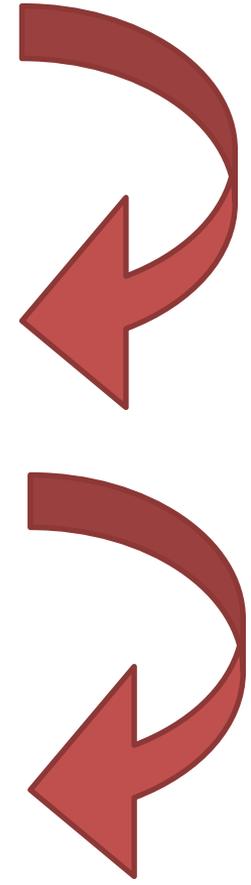
【普及・実証事業の取組】

- 製糸技術指導の継続実施。
- 高品質の繭からの生糸を生産し、高付加価値化して市場に供給できる体制づくり。

➔

【期待される成果】

- 女性を含む未就労者の雇用が創出され、収入が向上する。



ラオス「建機オペレーター育成と 建機作業請負事業化に関する基礎調査」

2017年第2回公示採択



写真提供：盛興業株式会社

【事業概要】

ラオスでは、クレーンやブルドーザーといった建機の運転技術を持つ現地オペレーターが存在しないことから、ダムや発電設備などのインフラ建設現場においては、近隣のベトナムやタイから建機とオペレーターを呼び寄せている状況である。

ラオスにおいて、安心安全で効率性の高い作業を可能にするオペレーターの育成や、講習・免許制度の整備を目指し、基礎情報の収集と事業計画の策定を行っている。

具体的には、基礎調査の中で「クレーンオペレーター育成プログラム」を実施、受講生の募集・選定、スケジュール・コンテンツの作成、座学・実技講習の実施（日本ブランドの発信）、修了実技試験を行った。今後、プログラムの改善を図りつつビジネスモデルの策定に反映させる。

【ラオスの女性の状況】

- 建築学科等で技術を取得した女性が専門性を活かせる雇用先がない。
- 重機を扱う仕事は男性が担うといったステレオタイプが存在する。



写真提供：盛興業株式会社

事例紹介：盛興業株式会社（兵庫県）

ラオス「建機オペレーター育成と建機作業請負事業化に関する基礎調査」

- Facebookへの投稿(募集チラシ)に「女性歓迎」の記載を盛り込む
- 「即戦力」と「バックグラウンドの多様性」を意識



11名の受講者中、
2名の女性を選抜(20代と30代、
どちらもクレーン運転経験や建設
業界での実務経験なし)

【「クレーンオペレーター育成プログラム」実施の結果(女性)】

- 実技や関連知識の取得において、平均ないし平均以上の成績を修めた。
- グループ討議やプレゼンテーションでは進行役を務めるなど、リーダーシップを発揮した。
- アンケート結果では、本人の満足度も高く、建築学科の友人たち(女性)に勧めたいとの声が挙がった。

【今後の課題】

女子用トイレや休憩ルーム等、
女性が参加することを想定した設備の充実。

